

パテント誌で《特集「関西は今」》を組んでいただくことになった。この特集は、パテント編集委員会が私の担当委員会の一つであること、本年度の正副会長会の重点事業計画の一つに弁理士の地域展開があり、そのために新設された「地域活動促進本部」もまた私の担当であること、そして、私自身が近畿支部の会員であり、関西人であること、等から、生まれるべくして生まれた企画であるとも言える。

本年度の事業計画にはさらに、全国支部化を視野に入れた日本弁理士会の組織改革がある。現時点において、役員・組織検討委員会レベルでは、全国を各経済産業局単位を基準として支部化すべし、という方向づけがなされている。また、前述の地域活動促進本部の中間答申案では、全国の日本弁理士会会員が地域に密着した活動をする事ができる地域アクセスポイントを各経済産業局単位に設けるべし、ということが内容の一つとなっている。さらに、九州部会では、本年2月本誌において「九州特集」が組まれて以来、急速に支部化の機運が高まり、本年度中に現会則での「九州支部」が実現する予定である。このように、「知的財産推進計画2004」においても求められている弁理士の地域展開への日本弁理士会としての方向づけは、着実に具体化されつつある。

そのような中で、大規模な地域特集が実現した。この特集の目玉はやはり、関西における各方面での知財のリーダー格の方々が集結して行われた「座談会」であろう。その中には、やや元気のない関西を知財とからませてどのように活性化させるか、とのサブ・テーマについて、関西、あるいは関西人の特性の分析を交えて語られている部分があるが、それ自体、「背景にとらわれず、人と違った特徴のある発言をしたがる。」と指摘されている関西人の特性が出ていて興味深い。

本特集に寄せる私の思いは、次のとおりである。

もとより、関西においては、近畿支部を通じて、知財に関して地域に密着した組織的活動が比較的進んでいるが、関西が関東や九州、東海に比較して元気がない、との一般的評価は否めない。関西における知財の現状が集大成された本特集には、関西をより活性化するための知財活動のあり方についての多くのヒントが含まれている。取りわけ、関西に拠点を置く会員各位、並びに知財関係各位におかれては、これからの知財活動のあり方を考え、実践していくための一助としていただきたい。

本特集に含まれるヒントはまた、あらゆる地域に共通するものが多くあると思われる。各地域の会員各位におかれては、その属する地域を活性化するための知財活動のあり方を考える一助としていただければ幸いである。

最後に、お忙しい中で座談会に出席していただき、あるいは特集原稿の執筆をお引き受けいただいた方々、最適な座談会出席メンバーをご推薦いただいた杉本勝徳地域活動促進本部長（前近畿支部長）、そして、急なことにもかかわらず本特集を実現いただいたパテント編集委員会に感謝を申し上げたい。

最近日本経済も漸く回復の明るい兆しが見え始めた。しかし、関西の各分野においては、それぞれでは頑張っているにも拘らず、全体として回復の足取りは重いと言わざるを得ません。関西の置かれた空洞化等の厳しい環境下におきましても、知的財産権によって関西経済を浮上させることには議論の余地はないものと思います。日本弁理士会の方でも、今年は地域活動促進に力を注いでおります。知的財産推進計画2004にもありますように、知的財産を活用して地域を振興するということが謳われております。それに則って、知的財産権による関西の活性化を図り関西を大いに盛り上げていこうという趣旨も今回の関西特集に加味されています。

今回の特集「関西は今！」では、色々な切り口を考えた結果、下記のような特集テーマで関西特集を行うことに決定しました。何らかの形で知的財産権に関係する特集テーマを選定したつもりです。また、特集の座談会、インタビューの各テーマのタイトルは、読者の皆様に極力分かり易くしたつもりです。特集内容は、各テーマ毎の紹介は、紙面の関係割愛させていただきますが、関西が頑張っている現状と目指す所を、読者の皆様にお知らせすることを目的としています。特集テーマは、座談会、インタビュー、依頼原稿の3部構成にしています。関西の人は勿論のこと、関西以外の人にも、関西経済再生は日本経済再生と共通点も多く、大いに参考になるのではないかと考えております。是非ご一読下さい。なお、ご意見等ありましたら、どしどしパテント編集委員会（FAX 03-3581-9188, XBL03564@nifty.com）の方へお寄せ下さい。

—— 座 談 会 ——

- ・座談会「知的財産権による関西再生の道を探る」

—— インタビュー ——

- ・バイオサポーターズ三会協議会（関西再生の起爆剤）の活動について
- ・中小企業支援の中核である大阪産業創造館にて
- ・大阪工業大学（日本初の知的財産学部設置）の学部長に聞く
- ・人工衛星の東大阪中小企業（ものづくり企業）を訪ねて
- ・所得伸び率日本一の南部川村役場うめ課を訪ねて

—— 特 集 原 稿 ——

- ・「奈良県の産業界を考える -奈良という環境とその地場産業-」
…奈良県中小企業支援センター 木口朋大氏
- ・「関西の特色・強みを活かした技術移転事業の新展開にむけて」
…関西 TLO 株式会社 鈴木大地氏
- ・「正副会長と近畿支部の語る会」